

2050年の社会が豊かで持続可能な社会であるために、私たちは地球環境への負荷を最小限にする挑戦を続けます。



今回のトピック



温室効果ガス排出量の最小化を推進し
脱炭素社会を目指します



世界中で、地球温暖化を原因とする自然災害が深刻化しています。私たちいすゞグループは、事業活動から排出される温室効果ガスの排出量を減らし、脱炭素社会の実現を目指すさまざまな活動を行っています。

使用エネルギーを低減

省エネルギー活動の推進



毎日の生活の中で、いすゞグループ全員で省エネ活動を進めています。工場などでは、製造工程の効率化や設備の運転方法の見直しなどでエネルギー使用量を減らすとともに、会社間で省エネ活動の共有をすることで、いすゞグループ全体で大きな効果を上げています。また、オフィスや販売拠点の新設や改修時は、エネルギー使用の少ない建物や設備に変更しています。

クリーンエネルギーを創出

再生可能エネルギーの積極的な導入



いすゞグループ全体で太陽光パネルの設置などを拡大しており、再生可能エネルギー由来のクリーンエネルギーを自分たちで作って使用しています。太陽光パネルに限らず、様々な技術を積極的に導入することで、今後もいすゞグループ全体でクリーンエネルギーの導入を拡大していきます。

クリーンエネルギーへ転換

再生可能エネルギー由来の燃料への転換



いすゞグループが使用するエネルギーを、再生可能エネルギー由来のクリーンエネルギーや、現在使用している化石燃料などに比べてCO₂の排出量が少ない天然ガスなど、少しでもCO₂の排出量が少ないクリーンなエネルギーへ転換することを進めています。いすゞグループ全体で取り組むことで、CO₂の排出量が大幅に削減できると考えています。